

事業活動実績報告書

施 設 名	やくし幼稚園
教 育 理 念	自ら考え行動する子どもたちの育成

1 事業名	身近なもので影絵遊び～影絵劇の鑑賞を通して
2 実施期間	令和 7年 4 月 17 日 ～ 令和 8年 3月 13日

3 取組概要	（取組日） 令和7年 4月 17 日 ～ 令和 7年 7月 31 日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 影絵について知る 絵本や紙芝居など子どもたちの身近な教材で、影について知る。天気や時間などで影の形が変化したり、見えたり見えなかったりする不思議を感じる。	
	（取組日） 令和 7年 4月 17日 ～ 令和 7年 7月 31日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 影の不思議を体験する 実際に影の出る日に園庭にて遊具や自分の影を観察してみる。午前中と午後の時間での影の向きの変化を体験する。	
	（取組日） 令和 7年 9月 1日 ～ 令和 8年 3月 14日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 影絵劇を鑑賞して、影絵遊びに工夫を加える 影絵劇団をお招きし、自分の体でできる影絵遊びを紹介してもらう。日本の昔話を影絵劇で鑑賞することで、これまでの物語の楽しみ方と異なる楽しさを感じる。	
	（取組日） 令和 7年 11月 1日 ～ 令和 8年 3月 13日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること カラーセロファンを用いた製作を行ったり、道具を用いて、光の色あそびをする。	
	（取組日） 令和 8年 1月 9日 ～ 令和 8年 3月 13日 （実施内容） 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 影絵劇団の方に教えてもらった影絵遊びを実際にやってみる 新しい影あそびを取り入れることで、子どもたちの興味関心が深まる。	

効果検証報告書（継続事業用）

施設名	やくし幼稚園
教育理念	自ら考え行動する子どもたちの育成

計画時	事業の区分(5領域)	幼稚園教育要領に示された5領域に該当するもの(複数可。最も当てはまるものには◎を選択してください)				
		健康	人間関係	環境 ◎	言葉	表現 ○
	1 事業名	身近なもので影絵遊び～影絵劇の鑑賞を通して				
	2 事業概要	園庭遊びの際に、自分の影を発見して遊んだり、手や体で影絵を表現して遊びを発展させる。また、影絵劇の鑑賞をすることで、さらに影絵遊びを発展させていく。				
	3 対象学級(クラス名) 対象人数	満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児 (クラス名:さくら組、きいろ組、もも組、あお組)			135 名	
事業後	4 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 庭遊びを通して、影絵遊び(影で造形をする遊び、影鬼などの遊び)を行う。 庭遊びを行う上での、教員を配置する。 影絵劇団の公演を行う。プロの指導を受ける。				
	4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 屋外での活動で、自分の影を改めて発見し、観察しながら遊びにつなげていくことができた。影絵劇団は昨年まで講演依頼をしていた団体が廃業したため、新しい劇団を探すことになった。				
	5 事業のねらい	屋外で思い切り体を動かす活動の中で、自分の手や体を用いて遊びを展開することは、工夫することにつながり、さらには時間帯によって影の長さや角度大きさの差異に気づき、天体の不思議にも興味関心を伸ばしたい。またプロの影画劇を鑑賞することで、さらに興味関心を深め、さらなる遊びの工夫に役立ててほしい。				
事業後	5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 屋外で遊ぶことで、影の形や角度の変化に気づくことができ、天候の変化にも気づくことができていた。低年齢児は自分の影の不思議(自分にくっついてくるなど)に改めて気づき楽しんでいる様子が見られた。				

計 画 時	6 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等
		天候の良い日に、庭遊びを行い、自分や他者の影の存在に気づく。 身体の部位の隠れたり出てきたりする不思議を体験する。 他者とのかかわりの中で、影の形を変えてみたり、合体させてみて遊ぶ。 手を用いることで、いろいろな形の影を作ってみる。 時間帯によって影の向き、形、長さが異なることに気づき、天体に興味を持つ。 影絵劇団の公演を見ることで、自分たちの行ってきた影絵遊びを発展させる。
		上記のうち、幼稚園教育要領に示された「内容」について、各園で積み重ねてきた取組を発展させた点
		○自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議などに気付く。 ○自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。 日常の広い園庭での遊びをする中で、影の存在を認識し、それを用いて遊びに展開させる。 (影あそび、影踏み、影鬼など) (継続事業のみ記入) 前年度の取組から発展させた点 お庭遊びで使用できる、影絵遊びの道具を作成したり、購入したりする。 例: カラーセロファンを使った道具、色水遊びのできるおもちゃ、アクリル製のつききおもちゃ等 子どもたちが自分の体やおもちゃ等の具体物を用いて光と影を体験し、天気などの気象の変化に興味関心を持つことを期待する。光の透過性のある色のついたアクリルのつききを用いることで、影に色を付けたり混ぜたりいろいろな色彩に触れることができる。
計 画 時	事業後 6についての 効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等
		年長児が行うカラーセロファンをもちいた製作は、光の透過性を知る良い機会なので継続していきたい。セロファンを用いた道具を作ることで光と影で遊びが展開でき、子どもたちの人気の教材道具になった。
	7 環境構成例	○天候の良い日に、教員とともに庭遊びを行い、自分や他者の影の存在に気づかせる。 ○身体の部位の隠れたり出てきたりする不思議を体験する。 ○他者とのかかわりの中で、影の形を変えてみたり、合体させてみて遊ぶ。 ○手を用いることで、いろいろな形の影を作ってみる。 ○午前、午後の時間帯によって影の向き、形、長さが異なることに気づき、天体に興味を持つ。 ○影絵劇団の公演を見ることで、自分たちの行ってきた影絵遊びを発展させる。
		事業実績から推測される効果や改善点等
事業後	7についての 効果・検証	自分や友だちの影や遊具、建物の影などであそべるため、屋外での活動での影絵遊びでは十分な効果を得られた。かげふみなどの集団あそびも取り入れ、幅広い年齢の子どもたちの定番遊びになった。

計画時	8 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ○毎日行う庭遊びにおいて、遊具遊びだけでなく、自分の影の存在を知り、その変化や不思議さに興味関心を持つ。 ○天候によって影絵遊びができる日できない日があることを知る。 ○影ができるためには、太陽の存在が必要で、雲の有無で左右されることに気づく。 ○時間帯によって、影の長さ、形、向きが変わることに気づく。 ○影絵劇団の公演を鑑賞することで、自分たちの影絵遊びを発展させていくきっかけを持つ。
	事業後	事業実績から推測される効果や改善点等 屋外での影絵遊びは、天気の良い日の遊びになるが、天候、天体への興味関心につながるので、引き続き行っていく。屋内での影絵遊びも今後工夫して行っていきたい。
	9 効果検証総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて 影絵遊びは、影の不思議さもさることながら、天候や時間帯、天体への興味関心が広がり、園庭遊びの充実につながっている。影絵劇を鑑賞することで、新たな影の発見や楽しみ方を知ることができており、今後も影絵劇の鑑賞は続けていきたい。

※必要に応じて、別紙の添付やイラストの活用などにより事業説明を補足しても構いません(別紙は任意様式)。

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領における教育のねらいや内容等については、幼稚園教育要領の5領域から構成されていることを踏まえ、本事業では「幼稚園教育要領」とのみ記載しています。